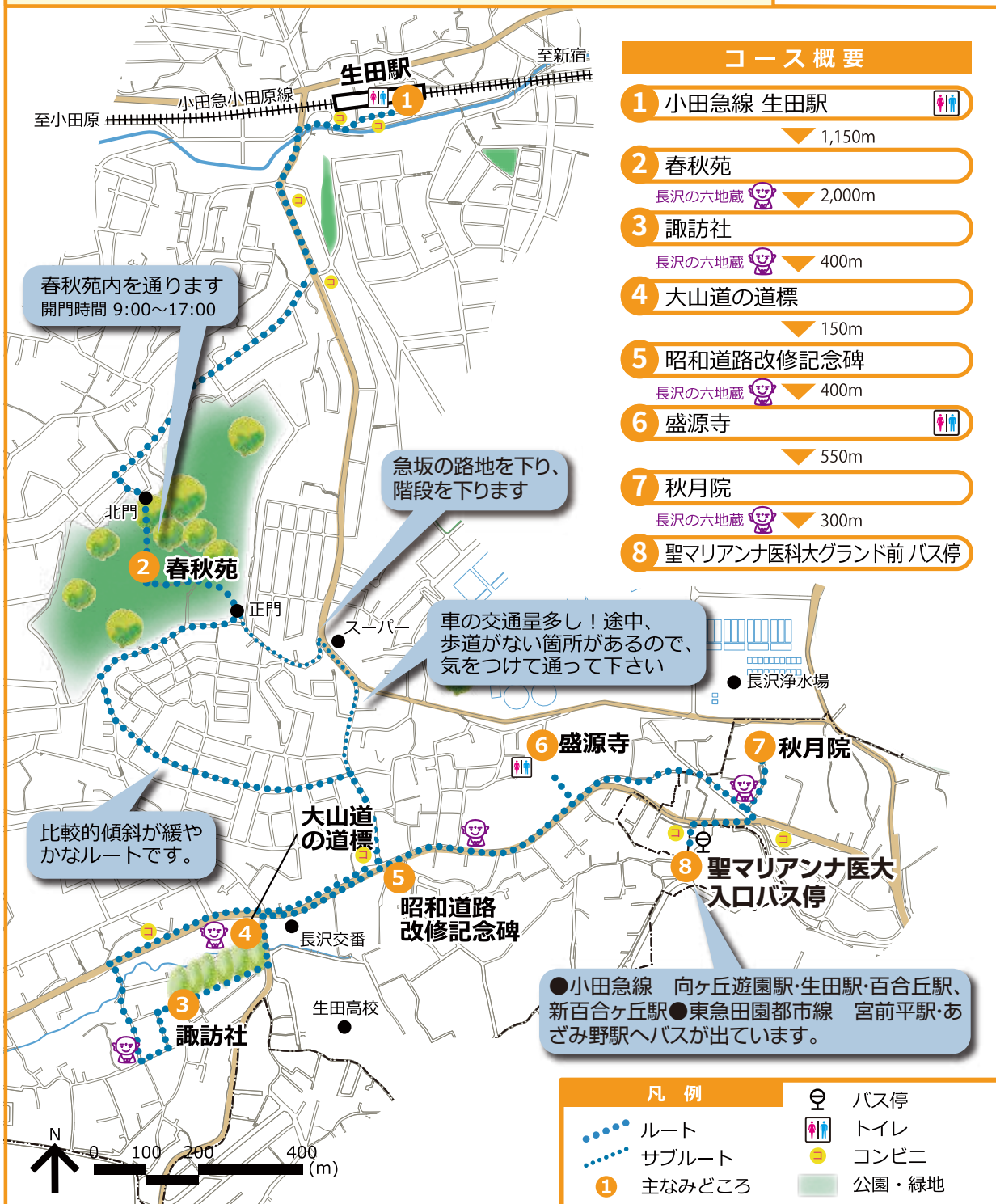


# 長沢の里の寺社・石仏めぐり

長沢はかつて武州橘樹郡長沢村で、多くの谷戸から良質の水が湧出して稲作が行われ、村中の人々が造立した長沢六地藏のうち、四地藏が本コースに点在。桜の美しい春秋苑、長沢の領寺諏訪社、準西国稲毛三十三所観音霊場をめぐる。

距離：6.0km  
時間：3時間  
難易度：ふつう



## ②春秋苑

昭和33年(1958年)に開苑した日本初の民間公園墓地で、生田丘陵、南生田8丁目全域に広がる20万平方メートルという広大な敷地に1万4千を超える墓所に多くの故人が眠っています。また、著名人の墓所も多数あります。

四季折々の草木が植えられ、来訪者に安らぎを与えています。



## 長沢の六地藏

平瀬川支川沿いに稲毛領長沢村中の人たちが造立したお地藏様の一つですが、作り直されています。六地藏は通常六体が並んで祀られます。武州橘樹郡長沢村と刻印があり、盛源寺で開眼されたもの。六地藏というのは、あの世には六道(地獄道、餓鬼道、畜生道、修羅道、天道、人間道)があり、人間は死ぬといずれかに行くことされ、その時人々を導き救うという日本の仏教解釈から生まれたものです。



## ③諏訪社

長沢の鎮守で、祭神は諏訪大社の祭神である建御名方命(たけみなかたのみこと)と天照大神、大己貴命。創建は不詳だが、社伝によると文治3(1187年)に源頼朝の命により稲毛三郎重成が創建したとされ、本殿に通じる長い参道では明治の頃まで農家の人たちが農耕馬を競争させる馬駆けが行われていました。(鉄砲馬場)拝殿前の木箱に収められている黒石は諏訪の護石と言って参拝者が病氣平癒のお守りとして持ち帰り、祈願成就すると石を倍にして返す慣わしがあり、今も行われています。堂内には、小野小町が舟上がり短冊を海に流す「雨乞いの額」また、大山阿夫利神社から持ち帰った水が奉納されています。



## ④大山道の道標

枡形の榎戸、大道を経て長沢に入り、王禅寺に出てから南下して長津田で溝口の方からくる大山街道に合流。この道の利用者は、登戸あたりの人たちと世田谷、狛江の人たちでした。毎年、大山の夏山が始まる前夜の7月26日から上長沢の下講中の人たちによって灯籠を立て、まわりに青竹を立ててしめ縄を張り御神酒を上げ、和やかな集まりが行われていました。



## ⑥清水山盛源寺

曹洞宗の寺。安土桃山時代創建。本尊は釈迦如来像(江戸期の作)。観音堂には聖観音(銅像)が祀られており、準西国稲毛三十三所観音霊場第10番札所です。弁天堂(神体は慈覚大師の作)と寿老堂は武州稲毛七福神めぐりのスポットです。参道入口右手の舟形の庚申塔は寛文10年(1670年)「菅生郷長沢村」の銘があり、三猿等シンプルな初期の特徴を伝えるものです。区内では2番目に古く、市の重要郷土資料に指定されています。



## ⑦長澤山秋月院

曹洞宗の寺。天正元年(1573年)安土桃山時代創建。本尊は準提観音菩薩像で松平土佐太守公の姫が所持。唯一女性の観音様です。北条家人片山図書が庵を整え、その法名(秋月月心)をとって院号にしました。葉書の木と呼ばれる多羅葉樹の高木があり(昔、この葉の裏に経文を書き写したそうです。)、準西国稲毛三十三所観音霊場第11番札所になっています。

